

# ロバート・メイプルソープ展

会期：4月19日(土)～6月1日(日) 会場：県立美術館  
休館日：4月21日(月)・28日(月)・30日(水)・5月6日(火)・12日(月)・19日(月)・26日(月)

文化の窓

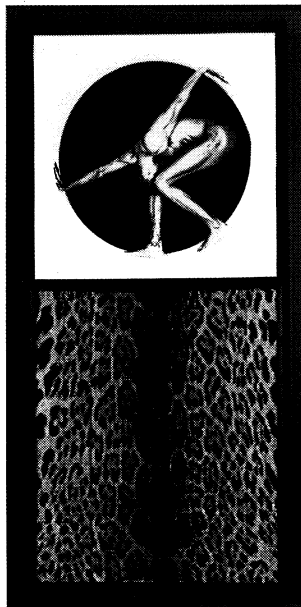


ロバート・メイプルソープは(1946～1989)は、現代アメリカを代表する天才的な写真家として世界的に知られています。ニューヨークに生まれ育ったメイプルソープは、1970年代から〈肖像〉〈花〉〈裸体像〉などをテーマに独創的な写真を発表し、一躍美術界の注目を集めました。その作品は、白黒やカラー写真を問わず、常に光の陰影の効果、対象の質感、フォルム、バランスなど画面の形態上の関心と、写真イメージの感情的で主観的な連想を融合させ、古典主義彫刻に通じる完璧な形態美を生み出しています。同時に、人間の肉体表現を通じて、生と死という存在の深い意味を問いかけた数々の作品は、その衝撃的なイメージから様々な評価を受けたのも事実です。しかし、エイズで42歳の生涯を閉じて以来今日まで、メイプルソープの作品は、写真の枠を超える深い芸術性をたたえるものとして世界的な支持を獲得してきたのです。

本展は、メイプルソープ没後、わが国で開催される最大の回顧展であり、彼が生涯追求し続けた永遠なる美的ビジョンの全貌を、精選した約180点により紹介するものです。



ルーシー・フェリー 1988年



円の中のトーマス 1988年

## ギャラリートーク

- ① 4月25日(金) 10:30～
- ② 5月17日(土) 14:00～

## 観覧料

- 一般・大学生 840円(680円)
- 高校生 610円(460円)
- 小・中学生 410円(300円)
- ※( )は20名以上の団体料金



ブルック・シールズ 1988年



パロット・チューリップ 1988年